

トリプルワン(6695)

2018/10 通期会社計画は赤字見通したが、上半期の収益状況から黒字確保も

フィリップ証券株式会社

TOKYO PRO Market | EMS・ODM | 業績フォロー

BLOOMBERG 3540 JP | REUTERS 3540.T

- 2018/10 期 1H (2017/11-2018/4) は、売上高が前年同期比 2.2%増の 5.52 億円、営業利益が同 87.9%減の 1 百万円、経常利益が同 14.4%増の 8 百万円、純利益が同 11.2%増の 5 百万円、EPS は 33.11 円。
- 主力事業のシステム事業では、積極的な販促を行ったが、プロダクツ事業において、利益寄与を見込んでいた製品が一部下期への延納となり影響が顕在化した。同社は、半導体・電子部品の提供や部品調達を行う商社で、メカトロニクス・半導体デバイス(※1) LSI、(※2) FPGA の開発を技術領域としたエレクトロニクスの単一セグメントで事業を展開。プロダクツ、エンジニアリングやシステム事業を行っている。(※1) LSI: 集積度を高くした高密度・大規模集積回路。(※2) FPGA: ユーザーがプログラムを書き換えできるデバイス。
- 2018/10 通期会社計画は、売上高が前期比 9.7%増の 12.77 億円、営業損益が▲24 百万円、経常損益が▲21 万円、当期損益が▲13 万円と増収ながら、赤字転落の見通しである。

What is the news?

2018/10 期 1H (2017/11-2018/4) は、売上高が前年同期比 2.2%増の 5.52 億円、営業利益が同 87.9%減の 1 百万円、経常利益が同 14.4%増の 8 百万円、純利益が同 11.2%増の 5 百万円、EPS は 33.11 円となった。同社はハードウェア・ソフトウェア・メカトロニクスの技術により技術仕様の構築からシステム開発設計、製造までワンストップでサービスを提供。エレクトロニクス市場分野で 3 つの事業を展開している。

1H の売上高は、プロダクツ事業が同 27.0%減の 1.45 億円。半導体・電子部品の提供と部品調達から一貫した EMS (※3) を行い、主に半導体検査装置用部品、船用機器用部品や分光器用部品及び 関連 EMS 製品を供給。エンジニアリング事業は同 38.4%増の 1.87 億円。ハード・ソフトウェアの開発設計サービスを派遣または受託開発という形態でクライアントへ提供。主なサービス実績は、カスタム LSI、ASIC (※4) などのデバイス開発、回路設計や実機検証などのシステム開発及びファームウェア/アプリソフトウェアの設計・検証である。システム事業は同 6.7%増の 2.19 億円。メカトロニクスの設計開発から加工・組立・製造を一貫して行っているほか、強磁場での設備の設計及び製造も手掛けている。

(※3) EMS: 「電子機器受託製造サービス」であり、他の企業から各種エレクトロニクス機器の受託生産を行う業態。

(※4) ASIC: 汎用集積回路に対して、特定用途向けに特化した集積回路のことで、特定のユーザーや用途向けに開発されたもの。

How do we view this?

2018/10 通期会社計画は、売上高が前期比 9.7%増の 12.77 億円、営業損益が▲24 百万円、経常損益が▲21 万円、当期損益が▲13 万円と増収ながら、期初の赤字見通しを維持。同社は、期初に仕入れ価格上昇などから粗利益率の低下を想定したが、1H は 28.4%と前年同期比 2.5 ポイントの改善。経費抑制ができれば、黒字維持の可能性もあろう。

業績推移

事業年度	2014/10	2015/10	2016/10	2017/10	2018/10F
売上高(百万円)	775	920	1,011	1,164	1,277
経常利益(百万円)	25	28	18	46	-21
当期純利益(百万円)	15	25	9	30	-13
EPS(円)	87.53	145.09	52.77	175.25	-77.94
PER(倍)	17.14	10.34	28.43	8.56	-
BPS(円)	728.87	853.95	881.73	1,044.47	-
PBR(倍)	2.06	1.76	1.70	1.44	-
配当(円)	20.00	25.00	12.50	30.00	-
配当利回り(%)	1.33	1.67	0.83	2.00	-

(※)2017/4/27付で1:100の株式分割実施。それ以前の会計年度の配当は当該株式分割実施と仮定して算定
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) **未定** (会社予想)
株価(円) **1,500** 2018/9/11(基準値)

会社概要

1995/4に資本金1,000万円で株式会社「スタック」を設立。国内外メーカーの半導体製品およびコンピューター機器の販売、電子機器受託製造サービス(EMS)、ならびに基板設計とハードウェア・ソフトウェアの開発を開始した。2000/8に「スタック」から「トリプルワン」へ社名を変更した。

同社は、ハードウェア・ソフトウェアの開発設計サービスを派遣または受託開発という形態でクライアントへ提供するエンジニアリング事業、半導体・電子部品の提供と部品調達から一貫したEMSを行うプロダクツ事業、メカトロニクスの設計開発から加工・組立・製造を一貫して行うシステム事業を中心に展開している。国内では東京本社の他、横浜事業所や福岡支社を開設し事業を展開している。2016/12に一般社団法人日本個人情報管理協会よりJAPICOマーク(個人情報保護認証)を取得した。2017/6/30にTOKYO PRO Marketに上場した。

企業データ



主要株主 (2018/4/30)

株主名	(%)
1. 福島慶多	24.39
2. 吉田隆治	15.73
3. 塩田秀明	10.96

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。